

RATOC VSPの使用方法について

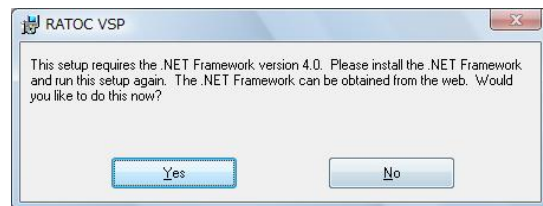
RATOC VSP(COMポートエミュレートドライバー)を使用すると、REX-WF60 および REX-ET60 に割り当てられた IP アドレス/ポート番号を仮想 COM ポートへ割り当てることができます。

(1) RATOC VSP のインストール

RATOCVSP.msi を実行します。

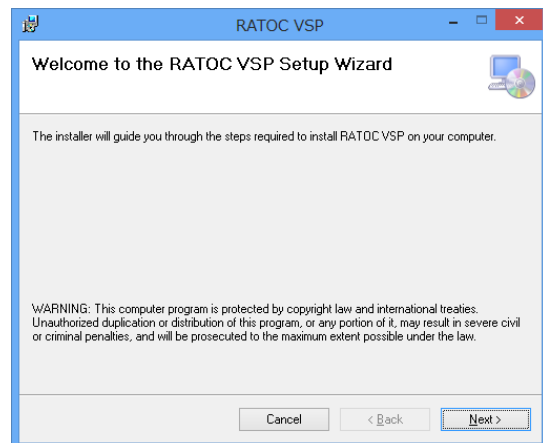
(環境によっては拡張子の「.msi」が表示されない場合があります。)

「.NET Framework version 4.0」がインストールされていない環境では、右の画面が表示されますので「Yes」をクリックし、ダウンロード・インストールを行います。



「.NET Framework version 4.0」がインストールされている場合は、以下の手順に従い RATOC VSP のインストールを行います。

「Next」をクリックします。



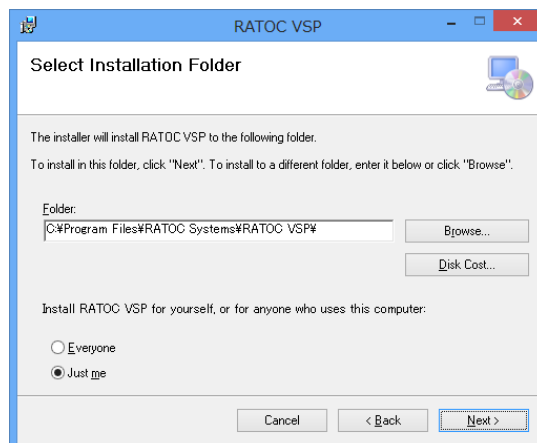
「I Agree」を選択し「Next」をクリックします。



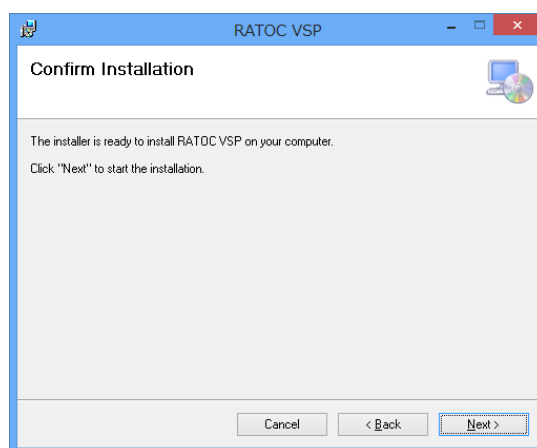
インストール先を選択し「Next」をクリックします。

[Everyone] -- この PC を使用しているすべてのユーザーが使用する場合。

[Just me] -- 現在使用中のユーザーのみを使用する場合。



「Next」をクリックします。

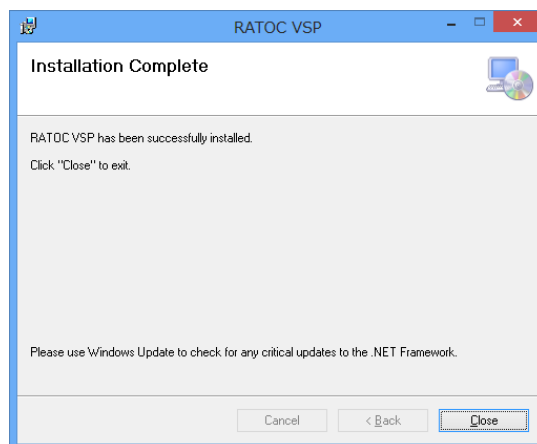


ユーザーアカウント制御の画面が表示される場合は「はい」をクリックします。



以上でインストールは完了です。

「Close」をクリックします。



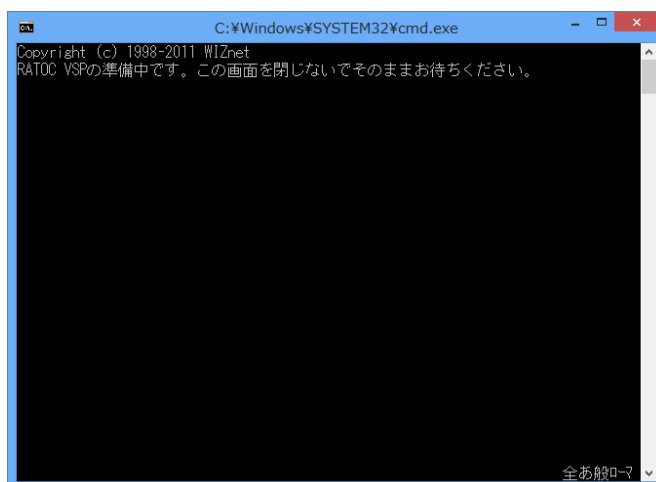
(2) COMポートへの割り当て

RATOC VSP を起動します。

「ユーザーアカウント制御」の画面が表示される場合は「はい」をクリックします。



初回起動時はコマンドプロンプト画面が表示されますが、RATOC VSP が起動するまで、そのまま待ちます。



【COMポートへ割り当てる手順】

製品の IP アドレスを自動で検索する方法と、手動で入力する方法があります。

1. 対象となる製品にチェックを入れます。

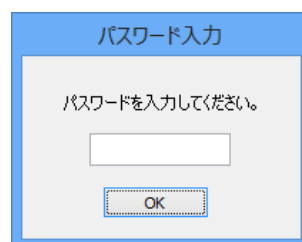
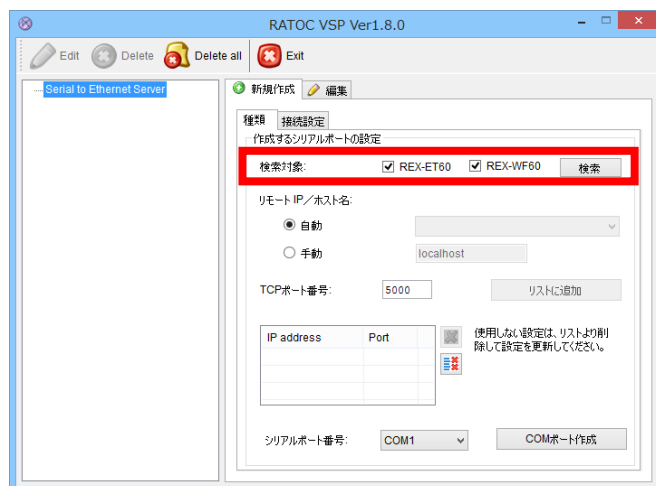
【自動で検索する場合】

[自動]を選択し「検索」をクリックします。

REX-ET60 を選択した場合は、検索用パスワードの入力が必要です。

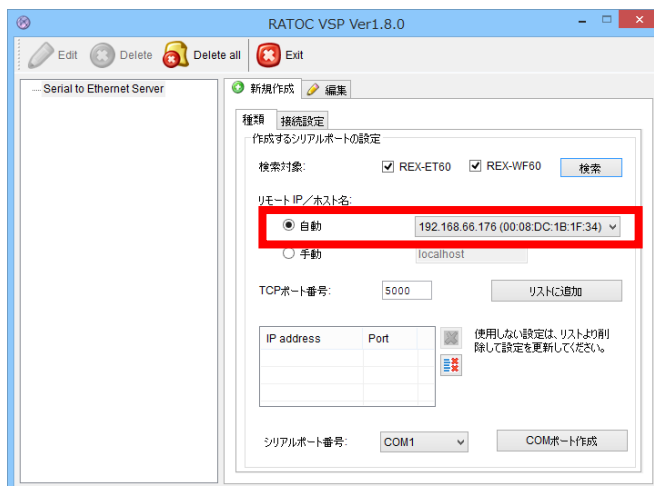
デフォルトでは「ratoc」となります。

(パスワードの変更方法については、REX-ET60 のマニュアルをご参照ください。)



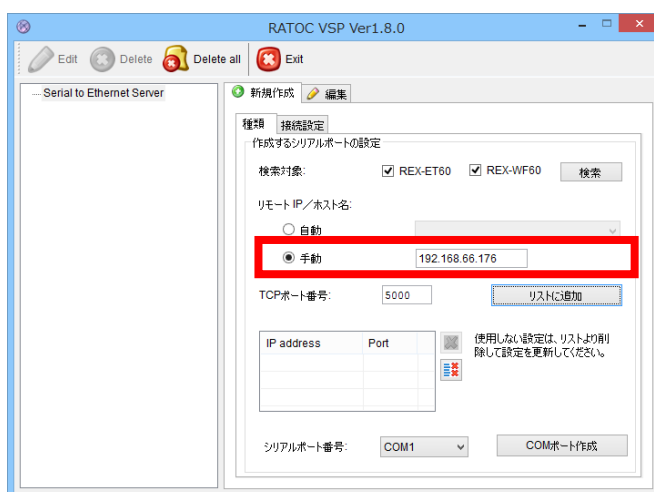
検出されると、[リモート IP／
ホスト名]に製品の IP アドレス
が表示されますので、[TCP ポ
ート番号]を入力し「リストに追
加」をクリックします。

REX-WF60 ポート番号：2000
REX-ET60 ポート番号：5000

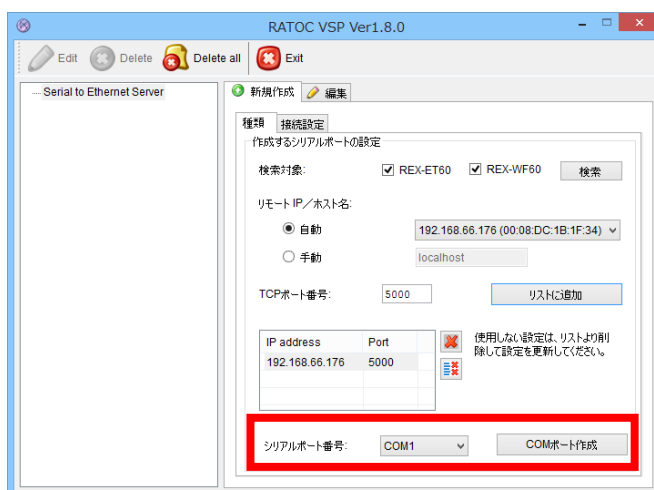


【手動で入力する場合】

[手動]を選択し、あらかじめ確
認しておいた製品の IP アドレ
スを入力し「リストに追加」を
クリックします。



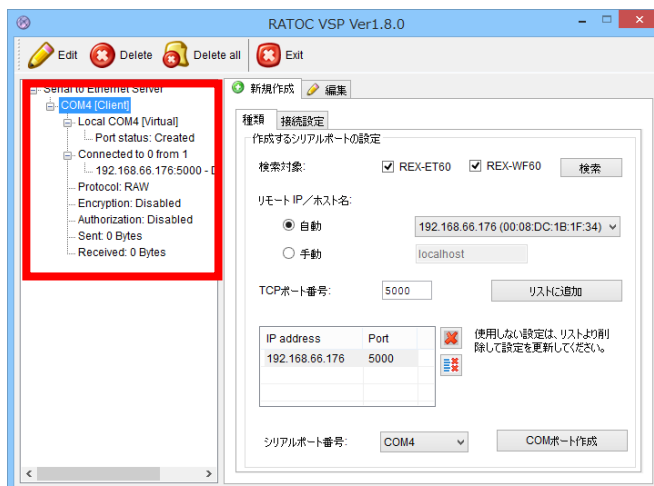
2. [シリアルポート番号]を選択し
「COM ポート作成」をクリックし
ます。



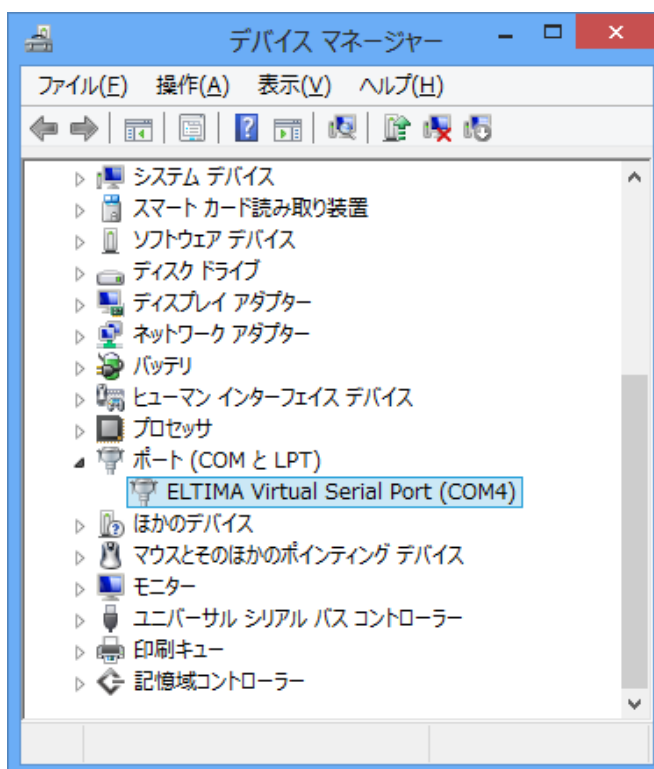
3. RATO VSP の左欄に仮想 COM ポートの情報が追加されます。

※ 本製品の IP アドレスを DHCP サーバーより動的に割り当てている場合、IP アドレスが変更されることがあります。

IP アドレスが変更されている場合は、「(3) 設定の編集」をご参考に再設定を行ってください。



仮想 COM ポートが追加されると、デバイスマネージャーの [ポート(COM と LPT)] に [ELTIMA Virtual Serial Port (COMxx)] が追加されます。

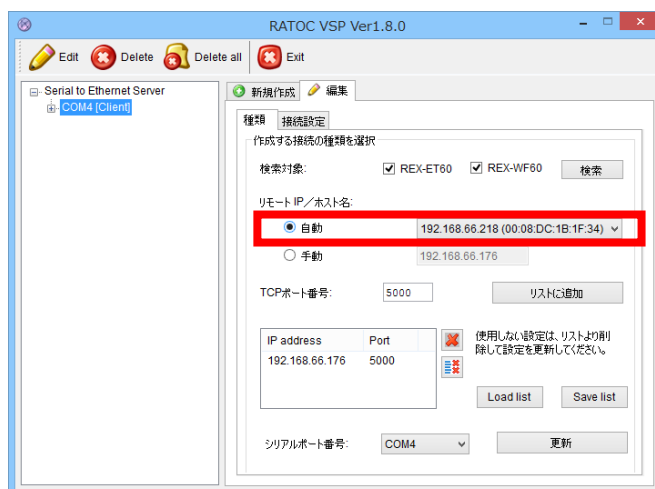


(3) 設定の編集

作成済み設定の[リモート IP/ホスト名] [シリアルポート番号]を変更することができます。

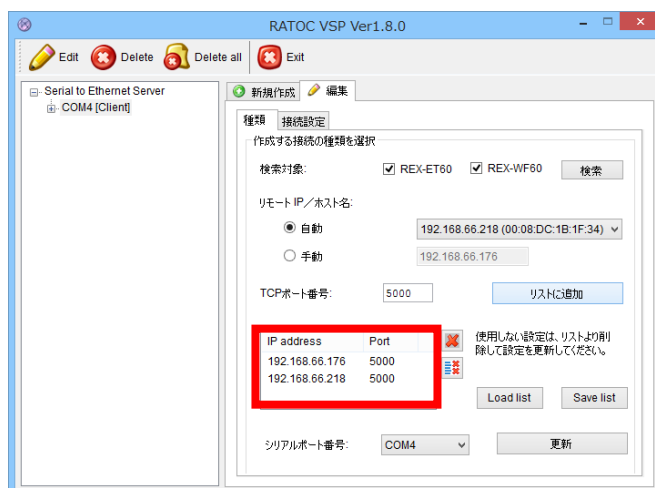
1. [編集]タブをクリックし、
「(2) COM ポートの割り当て」と同様に製品を検索します。

検出された製品を選択、[TCP ポート番号]を入力し「リストに追加」をクリックします。



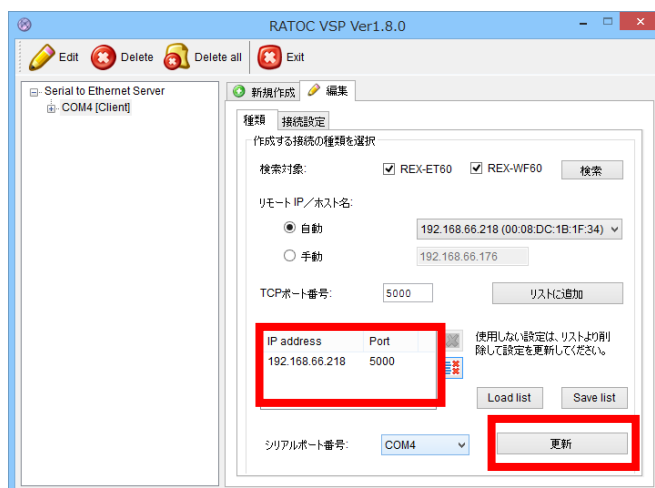
2. 使用しない設定はリストより削除します。

(リスト内には1つのIPアドレスでの運用を推奨します。)



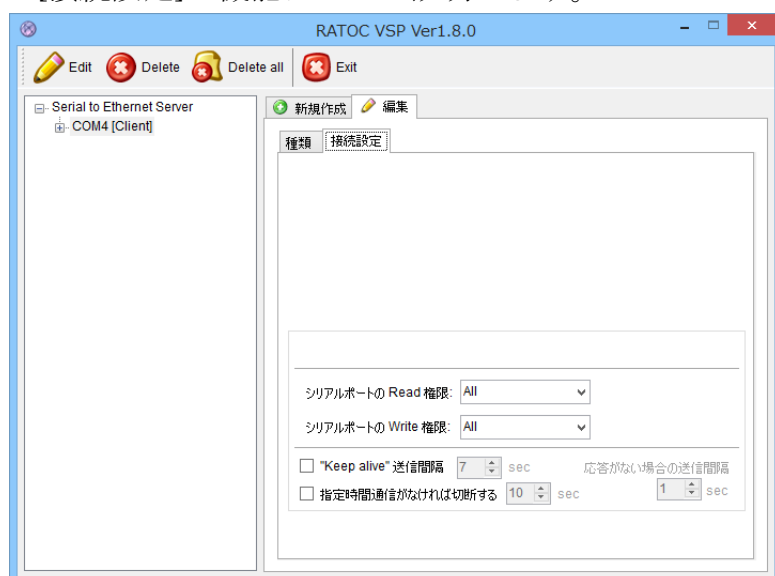
3. 「更新」をクリックすると変更した内容に更新されます。

(シリアルポート番号を変更する場合は、COM ポート番号も変更した後に「更新」をクリックします。)



(4) その他の機能

RATOC VSP の[接続設定]の機能について説明します。



[シリアルポートの Read 権限]

All -- 同一の COM ポート番号に登録されているシリアルポートのうち、どのシリアルポートで受信したデータも読み込みます。

None -- 同一の COM ポート番号に登録されているシリアルポートのうち、どのシリアルポートで受信したデータも読み込みません。

Only first -- 同一の COM ポート番号に登録されているシリアルポートのうち、先に登録されている(上記画面の[Connected to 0 from 1]下の一番上に表示されている)シリアルポートで受信したデータのみ読み込みます。

[シリアルポートの Write 権限]

All -- 同一の COM ポート番号に登録されている全てのシリアルポートにデータが書き込まれます。

None -- 同一の COM ポート番号に登録されているどのシリアルポートにもデータは書き込まれません。

Only first -- 同一の COM ポート番号に登録されているシリアルポートのうち、先に登録されている(上記画面の[Connected to 0 from 1]下の一番上に表示されている)シリアルポートにデータが書き込まれます。

[“Keep alive”送信間隔] -- 指定時間データ転送がない場合、“Keep alive”パケットを送信します。

[応答がない場合の間隔] -- 指定時間 “Keep alive”パケット送信で応答がない場合、“Keep alive”パケットを送信します。

[指定時間通信がなければ切断する] -- 指定時間データ転送がない場合、接続を切断します。